



医療法人 啓仁会

所沢ロイヤル病院 年報

令和7年度（2025年度）

1. 目次

1.	目次	P01
2.	病院理念・基本方針	P02
3.	院長挨拶	P03
4.	病院概要	P04
	診療科目	
	病棟構成	
	施設基準	
5.	患者動向	P05
	外来	
	1日平均外来患者数推移	
	1日平均外来患者数	
	入院	
	入退院数推移（2023年度～2025年度）	
	平均入院数推移（2023年度～2025年度）	
	入退院数と稼働率	
	病棟別入院数	
	病棟別入院患者紹介元病院	
	関連施設からの入院数	
	入院患者診療圏	
	病棟別退院患者動向	
	病棟別疾患割合	
6.	看護部	P09
	看護の質指標	
7.	診療部	P10
	薬剤科	
	処方箋調剤枚数	
	薬局出庫薬価	
	薬剤管理指導数	
	検査科	
	院内検査数	
	検査総数	
	放射線科	
	X線撮影件数	
	X線CT撮影件数	
	その他の検査件数	
	リハビリテーション科	
	部門別実施単位数	
	疾患実施単位数	
	回復病棟実績指数	
	療養病棟におけるFIMの利得	
	栄養科	
	指導件数	
	食事療養	
8.	専門チーム	P14
	専門チーム一覧	
	栄養サポートチーム（Nutrition Support Team）	
	院内感染対策チーム（Infection Control Team）	
9.	医療安全管理室	P17
10.	学会・論文等	P18

病院理念

私たちは

安全で良質な医療

心のこもった看護・介護

地域社会との連携

をめざします

基本方針

1. 人権を尊重し人間としての尊厳性を失わない
医療と介護の実践をめざします
2. 心のこもったあたたかいサービスを提供し
信頼される病院づくりをめざします
3. 医療を通じて地域社会に貢献することをめざします
4. 身体機能の維持向上に努め
患者さまの自立を高めることをめざします



ご挨拶

病院年報刊行に あたって

医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院
病院長 金子 正二

所沢ロイヤル病院は療養型病院であり、現在では地域包括病棟、回復期病棟、療養病棟を構えています。夫々の病棟の役割で、地域に貢献して参りたいと思います。
できる限り多くの患者さんを受け入れてまいります。

また年報には、医療連携、診療科、各部門、チーム医療の活動状況などを報告しています。
病院の実態そのものを皆様にお伝えしておりますので、ぜひご覧ください。

そして当院に対する評価をしていただき、ぜひフィードバックをお願いします。

所沢ロイヤル病院は、病院に託された各機能をもって地域医療構想に貢献していけるよう、
精進してまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

病院長 金子 正二

診療科目

- 内科
- リハビリテーション科

病棟構成

- 地域包括ケア病棟 32床
- 回復期リハビリテーション病棟 60床
- 医療療養病棟 240床

施設基準

(2025 年度施設基準(令和 7 年度施設基準状況報告書参考))

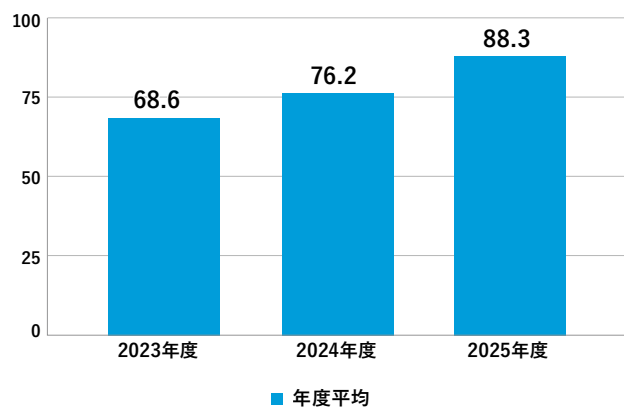
入院基本料	- 療養病棟入院料1 - 夜間看護体制充実加算 - 看護補助体制充実加算1 - 在宅復帰機能強化加算 - 経腸栄養管理加算	- 回復期リハビリテーション病棟入院料1 - 地域包括ケア病棟入院料2 - 看護職員配置加算 - 看護補助体制充実加算1
各加算	- 医療DX推進体制整備加算 - 診療録管理体制加算2 - 療養病棟療養環境加算1 - 栄養サポートチーム加算 - 医療安全対策加算2 - 医療安全対策連携加算2 - 感染対策向上加算2 - サーベイランス強化加算 - 患者サポート体制充実加算 - 総合機能評価加算 - データ提出加算2 - 入退院支援加算1 - 認知症ケア加算1 - 排尿自立支援加算 - 協力対象施設入所者入院加算 - がん疼痛緩和指導管理料	- 薬剤管理指導料 - 抗菌薬適正使用体制加算 - 地域連携診療計画加算 - 連携強化加算 - 在宅療養後方支援病院 - CT撮影及びMRI撮影 - 脳血管疾患等リハビリテーション料(1) - 廃用症候群リハビリテーション料(1) - 運動器リハビリテーション料(1) - 呼吸器リハビリテーション料(1) - がん患者リハビリテーション料 - 医科点数表第2章第10部 手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設) - 外来・在宅ベースアップ評価料(1) - 入院ベースアップ評価料(31)
入院時食事療養費	入院時食事療養費(1)	入院時生活療養費(1)

5. 患者動向

外 来

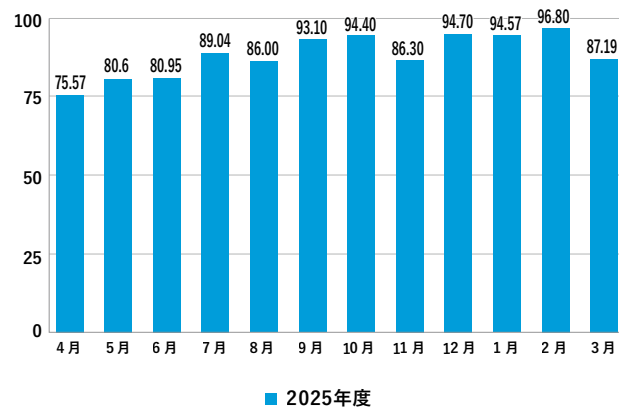
1 日平均外来患者数推移

2023年度～2025年度
(2023年4月～2026年3月)



1 日平均外来患者数

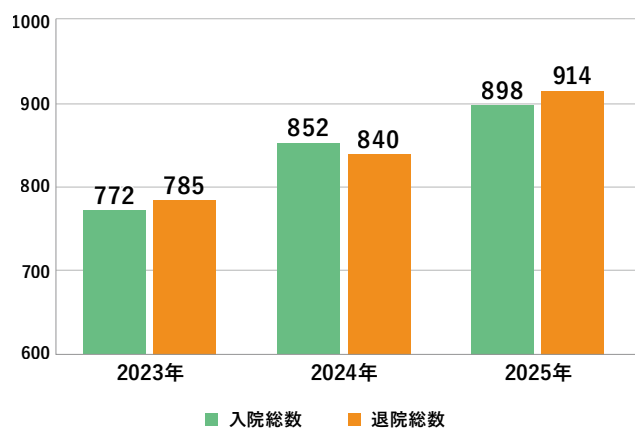
2025年度(2025年4月～2026年3月)



入 院

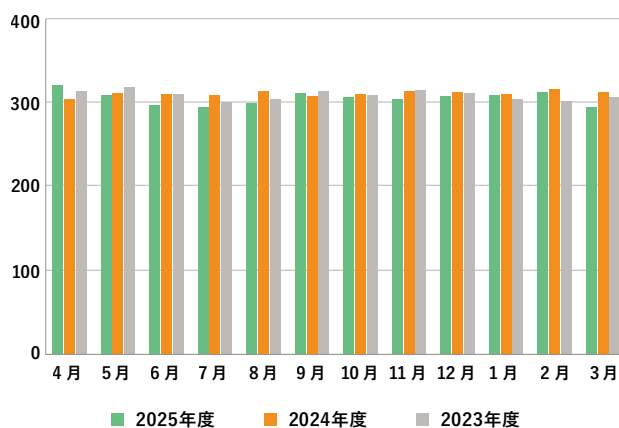
入退院総数推移

2023年度～2025年度(2023年4月～2026年3月)



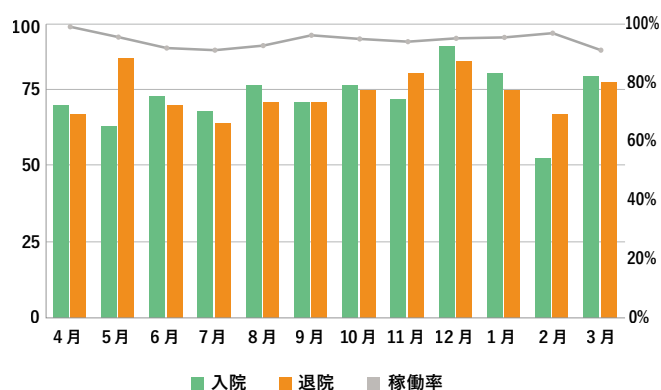
1 日平均入院患者数推移

2023年度～2025年度
(2023年4月～2026年3月)



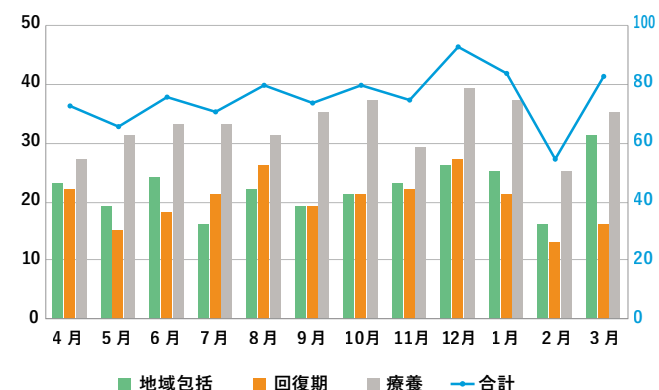
入退院数と稼働率

2025年度(2025年4月～2026年3月)



病棟別入院数

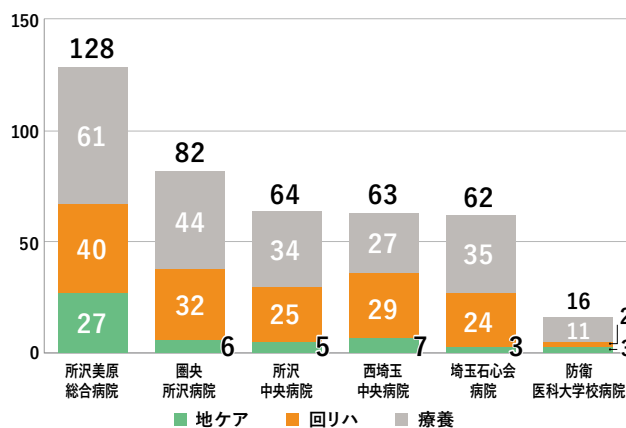
2025年度(2025年4月～2026年3月)





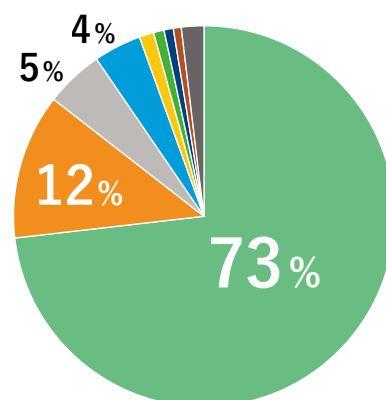
病棟別入院患者紹介元病院

2025年度
(2025年4月～2026年3月)



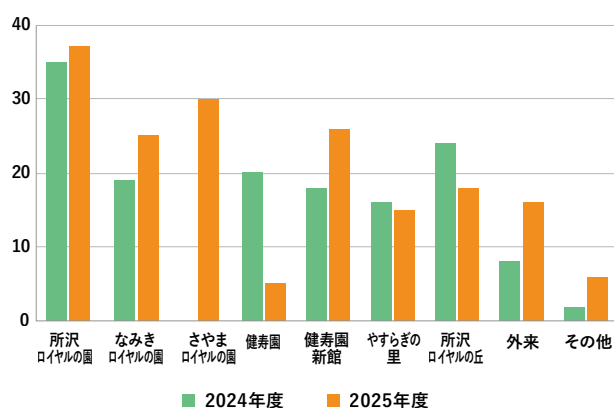
入院患者診療圏

2025年度(2025年4月～2026年3月)



関連施設からの入院数

2024年度～2025年度
(2024年4月～2026年3月)



- 所沢市 652
- 入間市 110
- 狭山市 44
- 東京23区外 36
- 東京23区内 11
- 飯能市 8
- 川越市 7
- 県外その他 6
- 県内その他 17



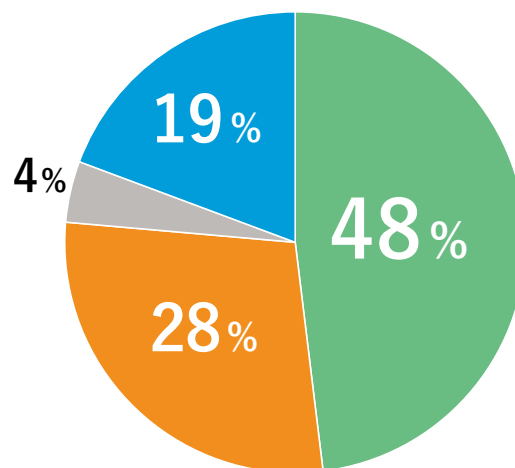
入院

病棟別退院患者動向

2025年度(2025年4月～2026年3月)

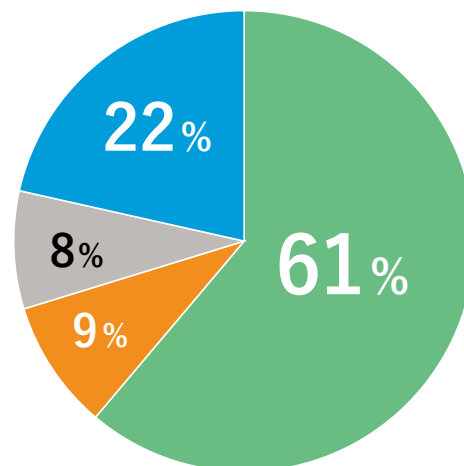
地域包括 ケア病棟

- 自宅 112
- 特養 66
- 居宅系施設 10
- その他 45



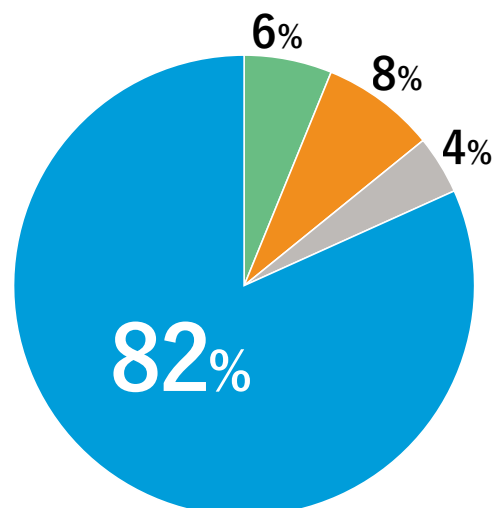
回復期 リハ病棟

- 自宅 148
- 特養 22
- 居宅系施設 20
- その他 52



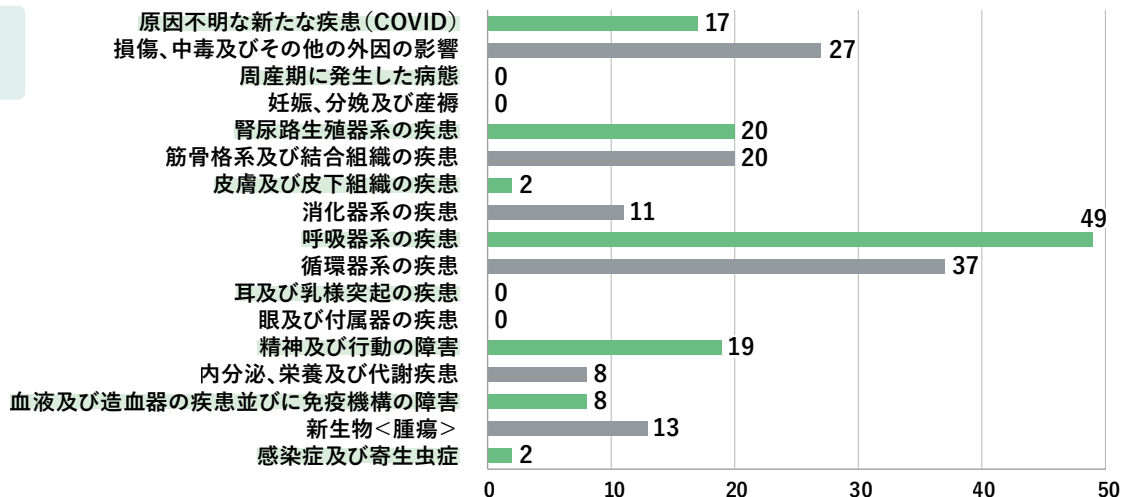
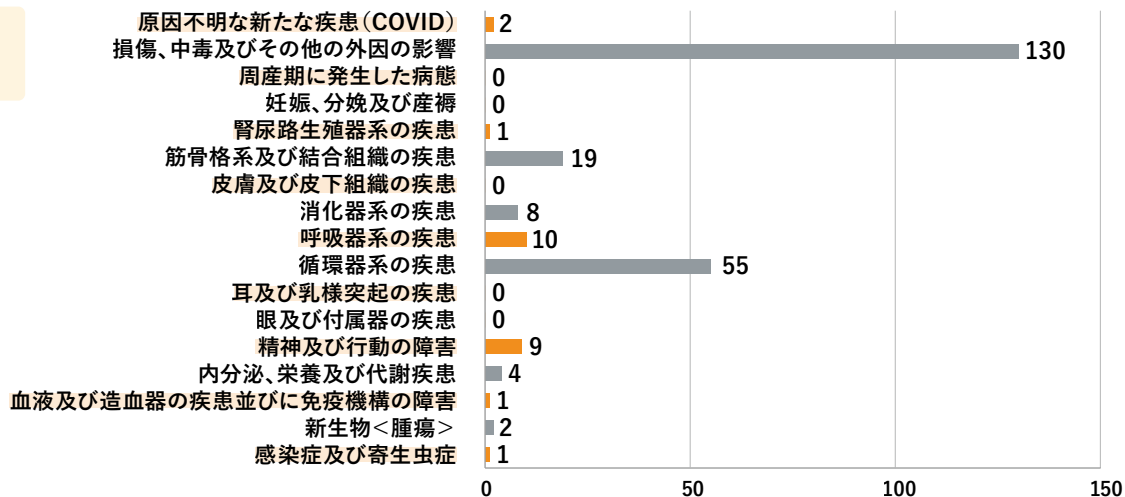
療養病棟

- 自宅 27
- 特養 35
- 居宅系施設 18
- その他 358

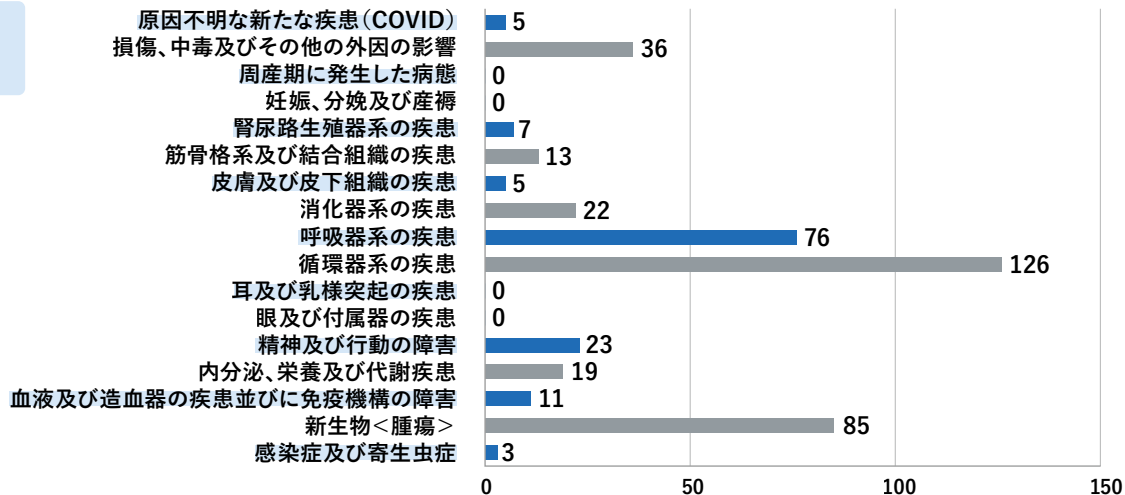


病棟別疾患割合

2025年度(2025年4月～2026年3月)

地域包括
ケア病棟回復期
リハ病棟

療養病棟



看護の質指標

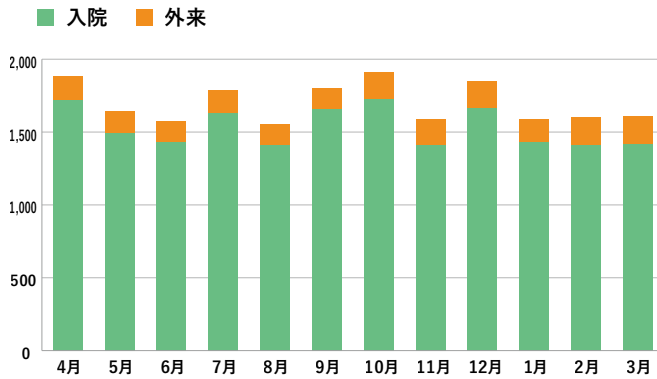
	年間平均値
尿道カテーテル抜去率	20.9%
褥瘡治癒率	19.8%
入院後当月の抑制解除率	55.1%
経口摂取頑張り率	1.7%
認知症患者への対応	20.5%
看取りの環境配慮率	54.0%
院内新規褥瘡発生率	1.7%
1ヶ月以上の抑制継続率	10.6%
転倒・転落による重症事故(3b以上)の発生率	0.5%



薬剤科

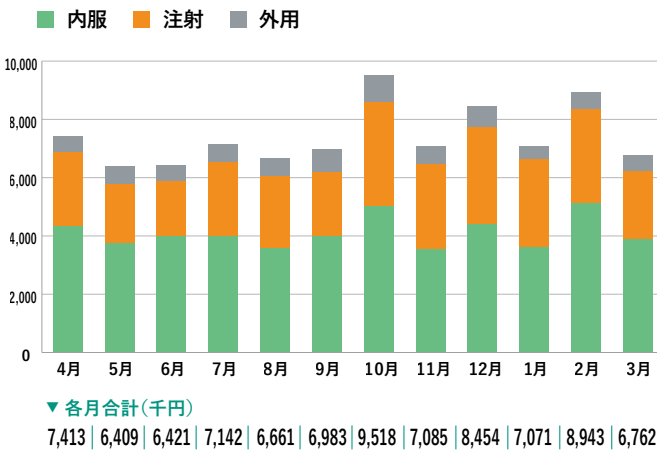
処方箋調剤枚数(枚)

2025年度(2025年4月～2026年3月)



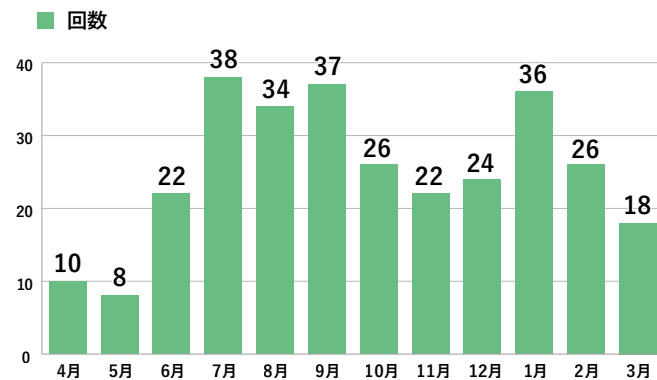
薬局出庫薬価(千円)

2025年度(2025年4月～2026年3月)



薬剤管理指導数(回)

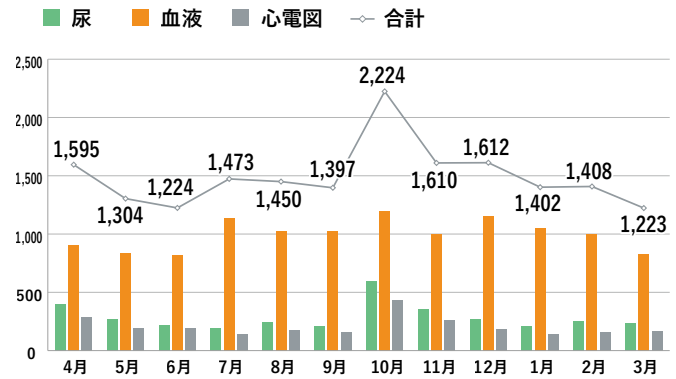
2025年度(2025年4月～2026年3月)



検査科

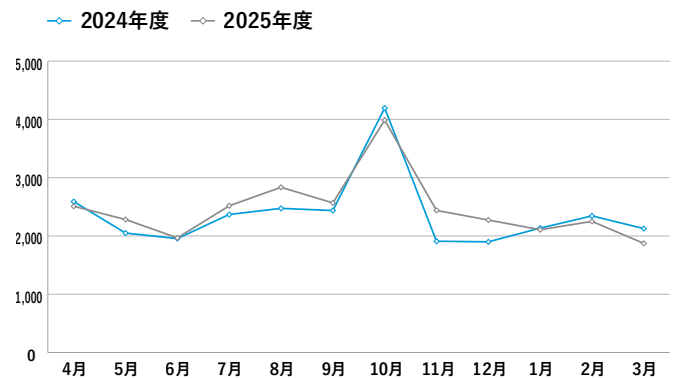
院内検査数(件)

2025年度(2025年4月～2026年3月)



検査総数(件)

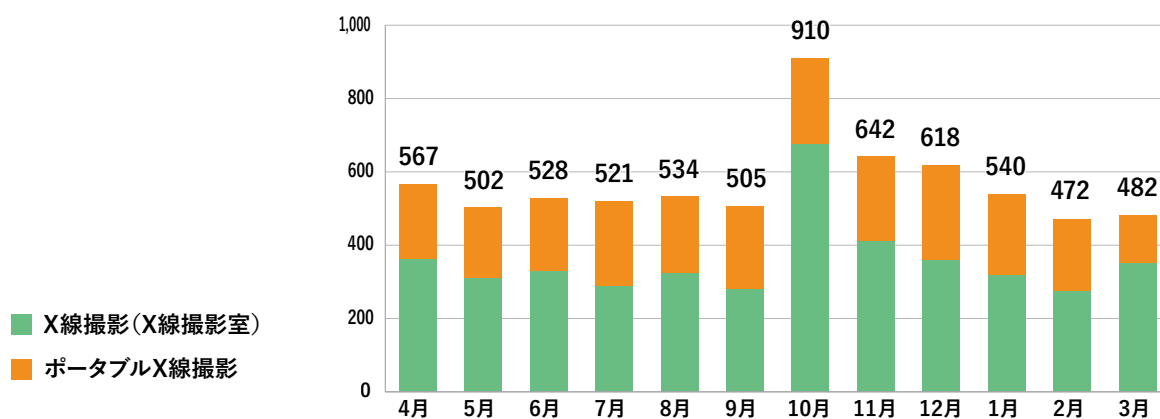
2025年度(2025年4月～2026年3月)



放射線科（年間検査実績）

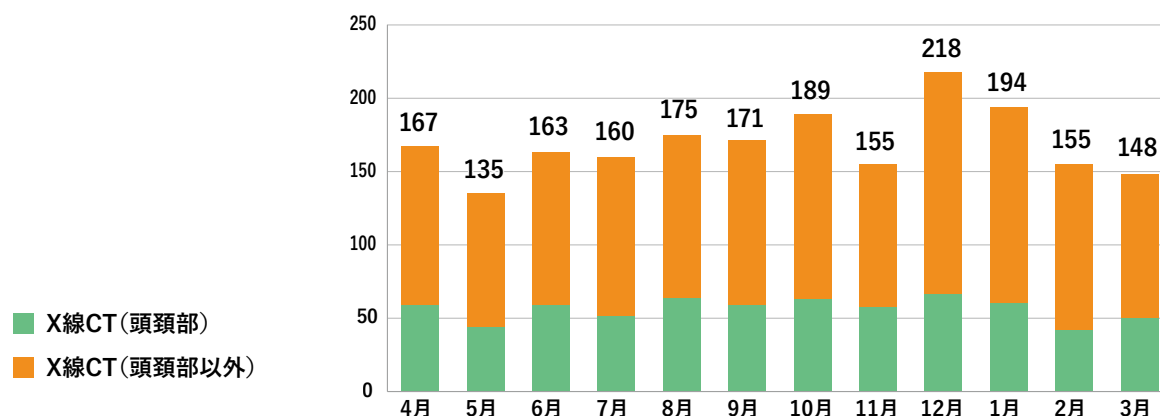
X線撮影

2025年度（2025年4月～2026年3月）



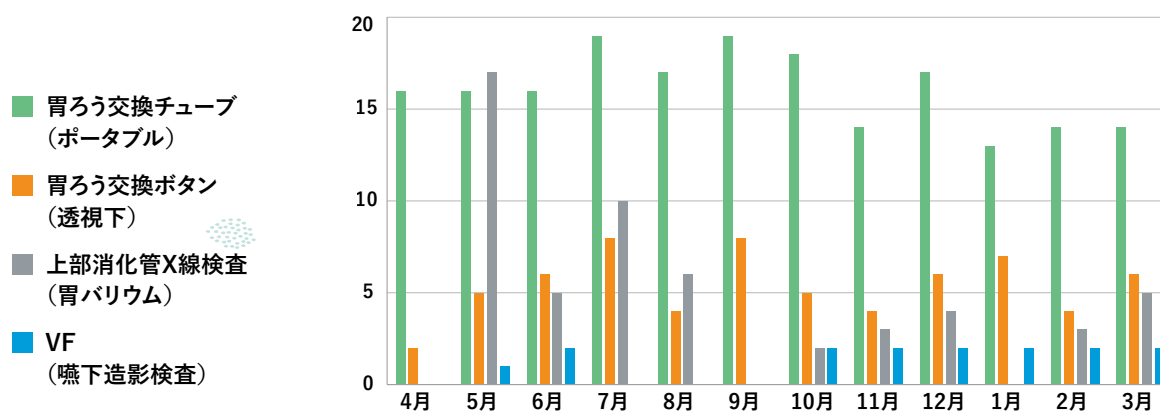
X線CT

2025年度（2025年4月～2026年3月）



その他の検査件数実績

2025年度（2025年4月～2026年3月）

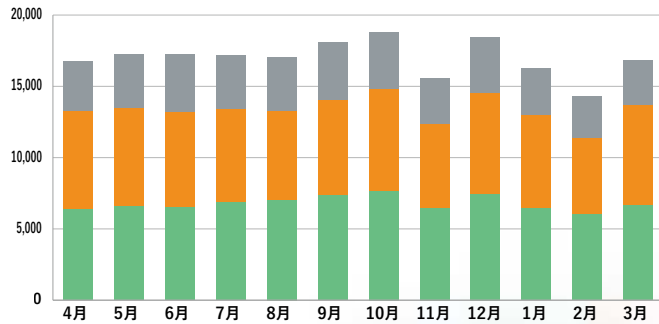


リハビリテーション科

部門別実施単位数

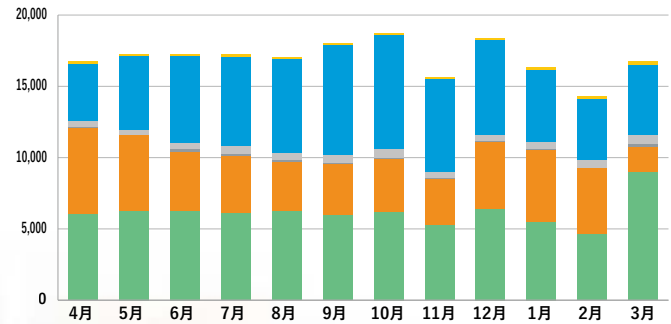
2025年度(2025年4月～2026年3月)

理学療法 作業療法 言語療法(摂食機能療法含む)



疾患別実施単位数

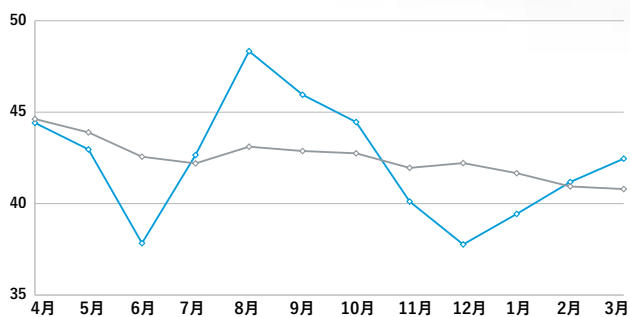
2025年度(2025年4月～2026年3月)

脳血管 運動器 呼吸器
がんリハ 廃用 摂食機能療法

回復期病棟実績指数

2025年度(2025年4月～2026年3月)

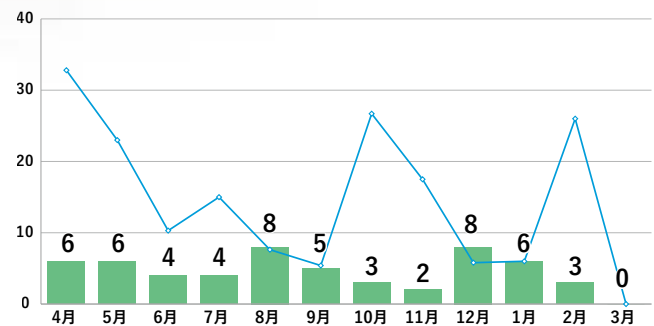
実績指数 6ヶ月集計



療養病棟におけるFIMの利得

2025年度
(2025年4月～2026年3月)

対象人数(人) 利得



栄養科

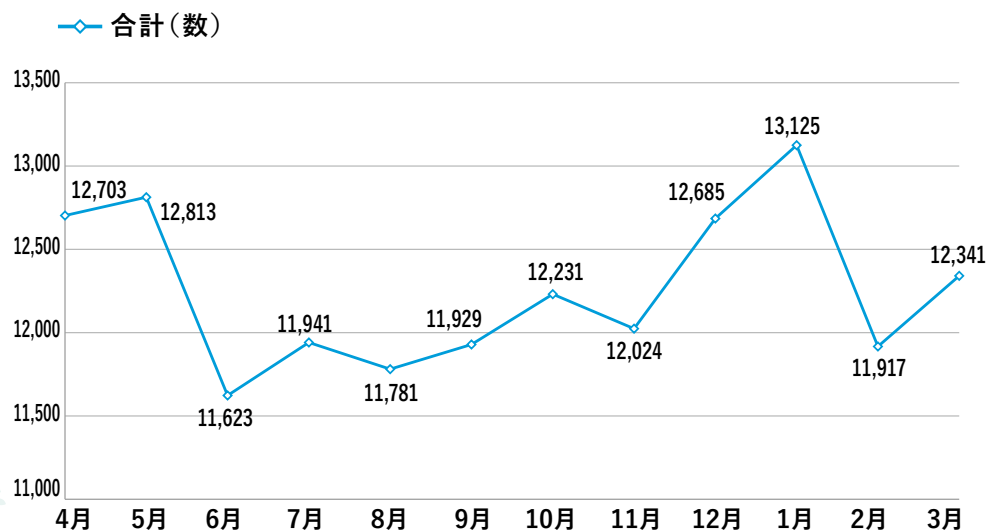
指導件数

2025年度(2025年4月～2026年3月)

指導件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
栄養指導件数	2	0	1	1	0	1	1	0	3	0	1	2
栄養指導情報提供件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

食事療養

2025年度(2025年4月～2026年3月)



食事療養	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般食	11,170	11,194	9,807	10,291	10,509	10,661	10,609	10,480	11,484	11,691	10,215	10,203
特別食	1,533	1,619	1,816	1,650	1,272	1,268	1,622	1,544	1,201	1,434	1,702	2,138

専門チーム／一覧表

専門チーム	メンバー	活動日
身体的拘束最小化チーム	医師 看護師 薬剤師 医療相談員 事務	第2水曜日
栄養サポートチーム	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 言語聴覚士 事務	第3木曜日
褥瘡対策チーム	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 理学療法士 事務	第3水曜日
排尿ケアチーム	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 理学療法士 事務	第4月曜日
認知症ケアチーム	医師 看護師 薬剤師 作業療法士 医療相談員	第4水曜日
院内感染対策チーム	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 作業療法士 事務	第4木曜日
抗菌薬適正使用支援チーム	医師 看護師 薬剤師 臨床検査技師 作業療法士 事務	第4木曜日
緩和ケアチーム	医師 看護師	毎週火曜日



専門チーム／栄養サポートチーム

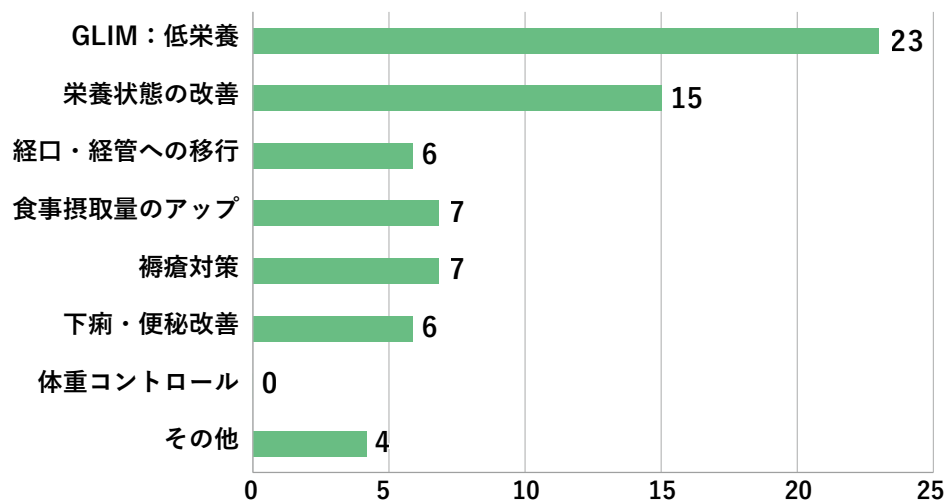
栄養サポートチーム活動

依頼総数	24件
平均介入日数	50.4日
栄養サポート加算算定	82回
歯科医師連携加算算定	78回



依頼内容

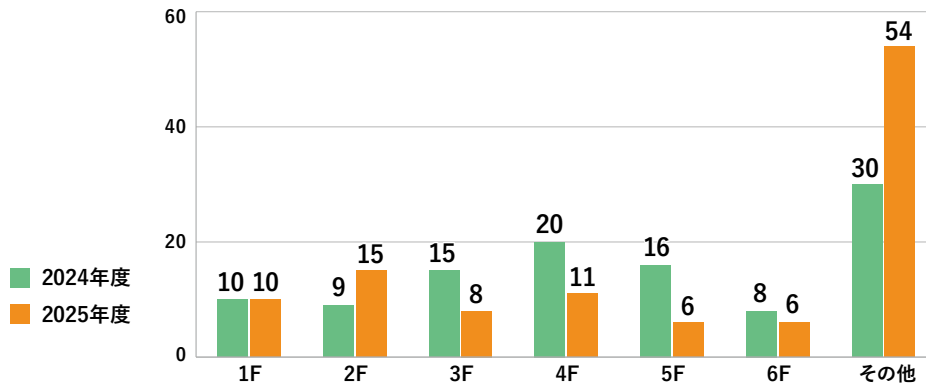
■ 依頼内容(複数回答)件



専門チーム／院内感染対策チーム

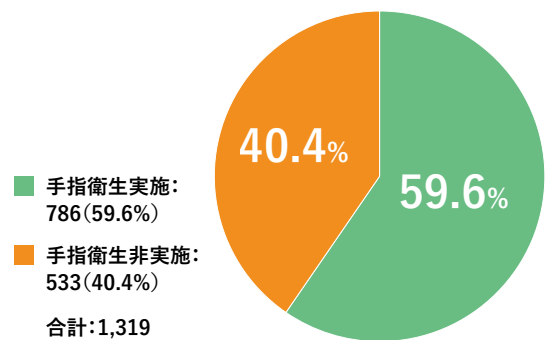
ICT 環境巡視 指摘回数

2024年度～2025年度(2024年4月～2026年3月)



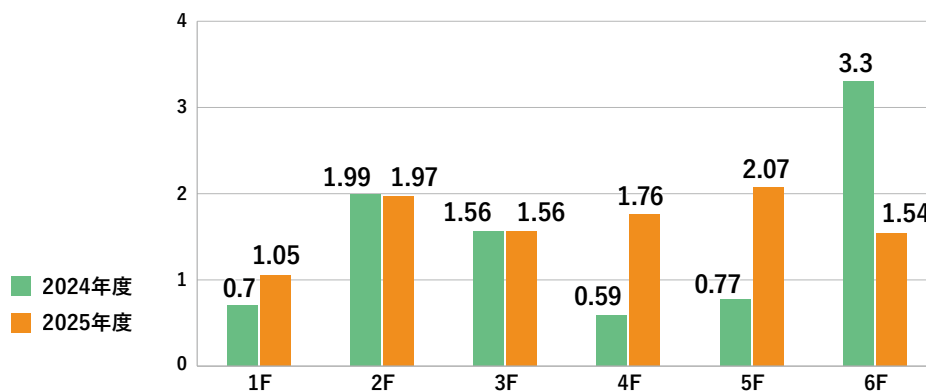
手指衛生モニタリング結果(直接観察 20 分間の記録)

	手指衛生すべき場面数	手指衛生が実施された数	実施率
医師	2	0	0.0%
看護師	615	424	68.9%
ケアワーカー	472	233	49.4%
リハビリ	228	129	56.6%
クラーク	2	0	0.0%



病棟別 尿路感染サーベイランス結果／尿路感染検出率※

2024年度～2025年度(2024年4月～2026年3月)



※検出率: 1000 カテーテル使用日数あたりの感染発生率

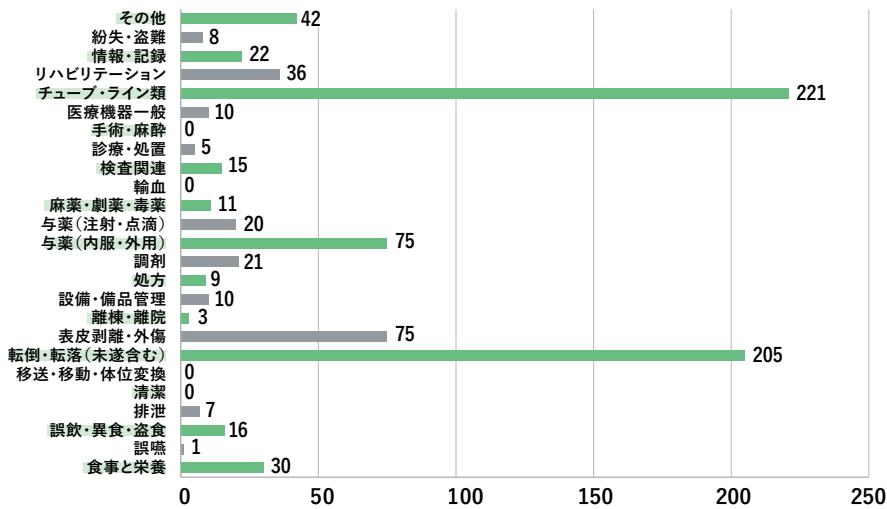


9. 医療安全管理室

医療安全管理室

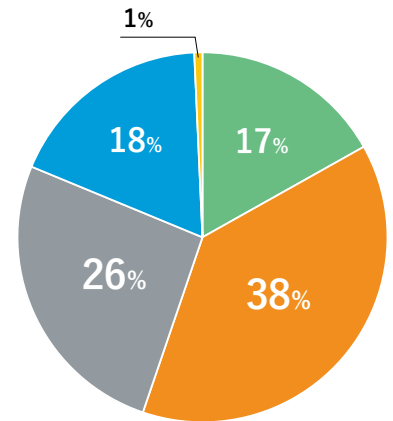
事故・ヒヤリハット報告分類別集計

2025年度(2025年4月～2026年3月)



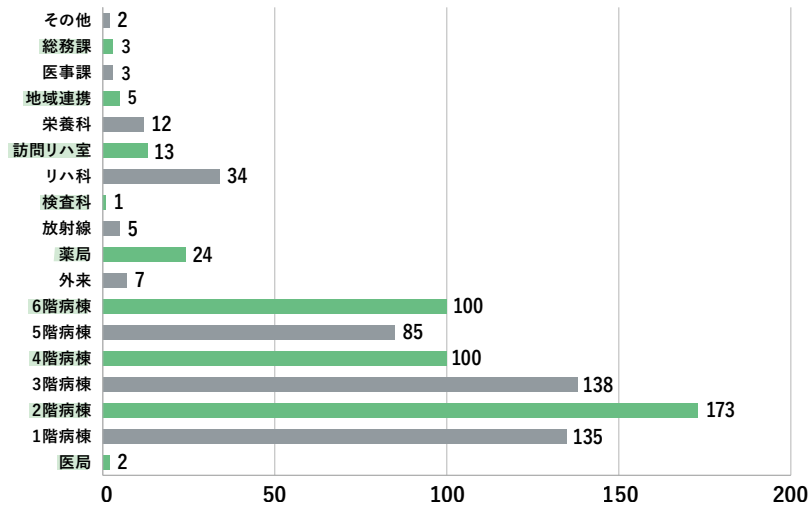
事故・ヒヤリハット報告患者影響度割合

2025年度(2025年4月～2026年3月)



事故・ヒヤリハット報告部署別報告数

2025年度(2025年4月～2026年3月)

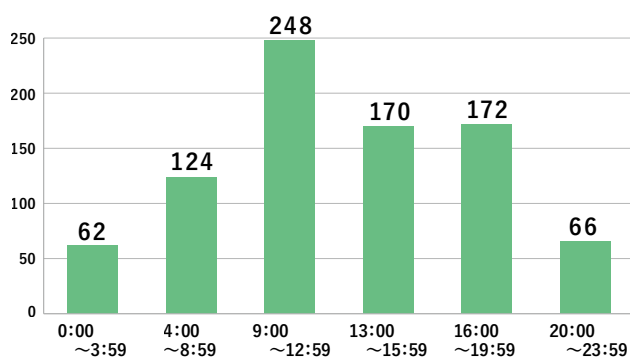


レベル0:17%
レベル1:38%
レベル2:26%
レベル3a:18%
レベル3b:1%



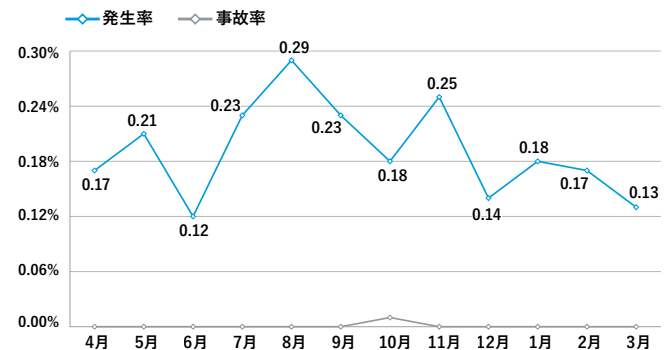
事故・ヒヤリハット報告発生時間帯別数

2025年度(2025年4月～2026年3月)



月毎転倒転落発生率・転倒転落による事故率

2025年度(2025年4月～2026年3月)



学会・論文等

学会参加

参加学会名	参加人数(名)
第38回 日本臨床内科医学会	1
第29回 日本看護管理学会学術集会	1
第56回 日本看護学会学術集会	2
第26回 日本言語聴覚学会学術集会	1
第34回 日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	1
第34回 埼玉県作業療法学会	1
第33回 日本慢性期医療学会	5
日本臨床倫理学会第13回年次大会	1
第27回 日本褥瘡学会学術集会	1
第40回 日本環境感染学会総会学術集会	1
第41回 日本栄養治療学会学術集会	1
第53回 埼玉県医学検査学会研修会	2
第41回 日本診療放射線技師学術大会	1
第47回 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 in 米子	2
第50回 全国デイ・ケア研究大会 2025 in 川越	2
第59回 日本作業療法学会	1

学会発表

学会名／演題名	発表者
第29回 日本看護管理学会学術集会 「看護補助者とのパートナーシップが生む“選ばれる・続けられる”職場づくりの実践」	吉村 紀代
日本臨床倫理学会第13回年次大会 「看護職ラダー教育への倫理研修導入～慢性期病院における教育～」	吉村 紀代
第3回 WAMタウン学術集会 「チーム医療で実現する排尿ケア～協働で実現するQOL～」	竹村 裕子
第56回 日本看護学会学術集会 「療養病棟における認知症に関する学習会の効果と課題」	新井 美晴 小西 奈美
第46回 回復期リハビリテーション病棟協会研究大会 「当院回復期リハビリテーション病棟における 大腿骨近位部骨折患者に対する Functional Balance Scale の活用に関する検討：歩行自立者の下位項目に着目して」	三隅 優太 三隅 夏美





医療法人 啓仁会
所沢ロイヤル病院